## SDGs達成に向けた具体的な取組(要件2)

							主なSI	OGs (	17ゴーノ	レと16	69ター	ゲット)	関連項目	1	
カテ	非該	チェック項目	取組	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、	1 2	3							2 13		15 16 17
ゴリ	当	フェック <del>項目</del>	レベル	併せて記載してください。)	1 (M) 2 4M (M) (M)	3 #### -W\$	4EEE 5	<b>6</b> ::::::	7 8 2	1	10 atem	11:00 E2:	13 :::::	15:	16 7000
1		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	あらゆる雇用条件において差別のない体制を整備し、相談体制を構築している。			5.1 5.2 5.5		8	3.5 3.7 3.8	10.2				16.1 16.2 16.7
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備 している	基本	就業規則にてハラスメントの禁止を明記し、社員に共有して いる。 【予定】社内での勉強会を開催予定			5.1 5.2 5.5			3.5					16.1
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	労働生産性改善、時間管理、多様な働き方を許容する勤務 体制への取組。						3.5					
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	外国人労働者2名在籍しており、差別や人権侵害が起きないよう、より良い労働環境の整備に努める。			4.4			3.7	10.2 10.3				
5 人 権		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	労働災害0へ、現場安全パロール・安全教育の実施。		3				8					
· 分 6 働		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	ストレスチェックを通じて定期的に上司との面談を行い、各自の抱えている問題を相談できる機会を設けている。		3									
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取 り組んでいる	基本	定年後再雇用制度の規定、多様な人材が働きやすい職場 を目指す。			5.1 5.5		8	1.5	10.2 10.3				
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	必要に応じて外部のセミナー・講習会に参加させている。			4 5.5			8 9	9				
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	【予定】関連法律の改正内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備・対応を行う			5.5		8	5.5	10.2				
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンシ	、【予定】40歳以上の社員には人間ドックの受診を奨励し、受診した場合の基本料金を一部会社負担する制度を策定		3				8					
11		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	長野県産業廃棄物3R実践協定を締結。適切な処理に取組 んでいる。								11.6 1	2.4	14.1	
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	【予定】エネルギー使用量の通年目標を定め、使用量削減 の取組みの実施。					7.3				13		
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	工事現場におけるCO2排出量の削減に取り組んでいる エコドライブ、昼休みの事務室消灯を実施している					7.2 7.3			1	2.4 13.3		
14 境		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組ん でいる	基本	法令で規制されている有害化学物質を把握し、安全作業の 実施、安全指導をしている		3.9		6.3				11.6 1	2.4		
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	工事現場における土壌汚染や水質汚濁の防止対策をしており生物多様性に配慮するよう努めている。				6.6						1	15
16		【3 Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	工事現場において建設廃棄物のリサイクル促進・向上に取り 組んでいる								1	2.5	14.1	
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンシ	持続可能な未来を実現していくため、使用する水の水源保全に努めます。				6.4 6.6							

Γ		<del></del>		主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目													
	カテー非該	チェック項目	取組 具体的な取組   しベル (県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。)	2 3		5									15 16	17	
	ゴリ当	クェクク <del>項</del> 口		(無などの取得認証があれば、 併せて記載してください。)	2 #44 3 E44	455.00	5⊕ <b>©</b> †	<u>\$</u>	1====	8 2555	9 1111111	10 day 11	© 00	12:12	и ::: 1 :::::::::::::::::::::::::::::	16 ****	17
18		【環境マネジメントシステム】 ・IS014001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ		3.9			6	7				12	13.3	14	15	
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ										12.6	5			
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ						7.2					13			
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】エコマテリアル活用の検討。									12.2	2 13	14	15	
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	社内規定に基づき、全社員に周知徹底を図っている。												16 16.	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	社内規定に基づき不正競争に関与しないよう社内浸透を 図っている。												16	
24	公 正	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	自社で開発した製品・資料の外部流出をしないように管理、 また全社員に周知徹底を図っている。						8.2 8.3	9						
25	な事業慣行	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	取扱管理者を決め個人に係る情報が漏洩しないよう努めている。												16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ													16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の 防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、 共に取り組んでいる	チャレンジ				5			8		10	12	13	14	15 16	17
28		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	各現場ごとに万一の場合における地域住民への影響及び周 辺の環境に対するリスクの洗い出しとその対応策の検討	3.9								12.4	1			
29	製品・サー	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	各種規定や基準類、手順書の整備及び運用を図り、品質保証の仕組みの構築を行っている。							9						
30	l Ľ Z	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ					6					12	13	14	15	
31		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	社有遊休地を活用し再生可能エネルギー発電(太陽光)に 注力。土木事業のICT化を促進。	2 3	4	5	6	7	8	9	10 11	1 12	13	14	15 16	17

								こなSD(	is (				ーゲッ					
	非該	チェック項目	取組	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、	1	2 3	4	5	6					12			15 16	
	当	, = , , <u>A</u> E	レベル	(県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。)	10% British	2 ## 3 ## ## -W-	455***	<b>⊕</b> †	<u>A</u>	1	######################################	3 ::	ii alia	© E ∷	B:10	¥##*** 15	16 Mate	n○ ∰
32	社	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	工事現場における説明会や近隣住民や関係者への周知を 実施し、地域とのコミュケーションを通じて安心・安全な施工 の実施。			4					9	11	. 12		14	15	17
33	社 地会 貢献 • · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンシ	・ 地域主催のお祭りやスポーツ大会に参加。 地元小学校の新入生にトートバックを進呈。			4						11			14	15	17
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンシ	プ 【予定】地域の原材料の優先的利用を促進する							8	9	11	. 12	13			
35		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	基本理念を明文化している。 経営者が経営目標を社員へ説明し共有している							8	9						17
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	法令順守の重要性を定期的に朝礼等で全社員に向けて発信、共有している													16	
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	社長による管理を実施 【予定】現在は社長が担当しているが、今後は担当役員を決め体制を整備する。													16	
38	小田	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー (※) との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本	適宜ステークホルダーとコミュニケーションをとり、自社活動 への影響を把握し、具体的な対応を行っている。													16	17
39	体制	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンシ	ジ 安全パロールのによる評価と安全指導の実施。													16	
40		【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動 が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンシ	;													16	
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンシ	ジ 【予定】2030年までに事業継続計画の策定を目指す。								9	11		13 13.1		16	
42		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンシ	ジ 継続的な人事採用、教育・育成の実施。							8	9						17

## 上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10 1	12	13	14	15	16 17

## 【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り 組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)